

## ▶ 令和5年度の基本方針

本年度は新たな中期経営計画「Smart Shinkin Stock 2025」がスタートします。

「Smart Shinkin 2022」で構築した課題解決に向けた情報循環サイクルのシステム(仕組み)・クオリティ・コンサルティング能力をさらにアップグレードした情報ネットワークの構築でお取引先や地域の課題をスピーディーに解決する金庫を目指し、お客さまの満足度向上を図ります。

昨年度は、課題解決支援メニューを拡充し、コロナ禍の資金繰り伴走支援、M&Aや事業承継支援や「ケイエール」を通じたDX支援を推進し、中小企業の課題解決、生産性向上に努めました。また、個人に向けてはシニア・トラストアドバイザーを新設し、お客さまの資産形成・相続対策態勢の充実を図りました。

さらに金庫内の業務効率化に向け、WEB会議システムの導入や業務用携帯のスマホ化、AIを活用したマーケティングの高度化等を進め、生産性向上の成果を得ました。

本年度は新中期経営計画のスタート年度として、「3つの資本(ストック)の蓄積(人的資本・地域資本・自己資本)」に向けた取り組みを本格化させます。

課題解決能力やITリテラシー等の向上、リスクリングなどによる自己成長支援の推進で人的資本の拡充を進めるとともに、DX支援の強化や創業支援、外部機関との連携など、地域活性化に向けたサステナブルな課題解決支援態勢を構築します。

これらの取り組みと業務効率化の推進により、さらに生産性を向上させ、収益・リスク・自己資本のバランスがとれたリスク管理を実践することで、自己資本の蓄積に努めます。

とりわけ、リスク管理面では、ガバナンス態勢を強靱なものとし、お客さまを守る取り組みを継続して強化します。

さらにマネー・ローダリングへの対応や危機管理態勢の実効性向上などを通じて信頼度を高めます。

くわえて、SDGsや脱炭素を踏まえた地域貢献活動を実効性あるものとし、地域経済の持続的発展に貢献します。

これらを通して役職員全員がワンチームとして取り組み、中期経営計画に掲げた施策を着実に達成し、「地域密着による課題解決No.1」の信用金庫の実現に向けた取り組みを計画的に進めます。

以上を踏まえ、令和5年度の「経営の基本方針」を以下のとおりとします。

### 経営の基本方針

## 「地域密着による課題解決No.1」の信用金庫

～ 地域とともに「いまはじめよう」 未来に向かって全速前進 ～

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1</b> 人財育成のための投資拡大を通じた職員のモチベーションおよび能力の向上</p>    | <p><b>2</b> 持続的な課題解決支援に向けた施策の推進</p>            |
| <p><b>3</b> SDGsや脱炭素を踏まえた技術開発支援による持続的な地域生産性向上への貢献</p> | <p><b>4</b> トップライン収益の向上と業務効率化による生産性向上施策の推進</p> |
|   | <p><b>5</b> リスクガバナンス態勢の強化とコンプライアンスの実効性向上</p>   |

### 重点施策

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>1</b> 人財育成のための投資拡大を通じた職員のモチベーションおよび能力の向上</p> <p>1 課題解決能力向上に向けた幅広く多様な研修機会等の拡充</p> <p>2 多様な人財の発掘と適材適所の配置によるモチベーション向上</p> <p>3 ライフプランに応じた働きやすさ・働きがいの向上と福利厚生制度の拡充</p>   | <p><b>2</b> 持続的な課題解決支援に向けた施策の推進</p> <p>1 大阪・関西万博を起点とした新事業・先進技術の発掘</p> <p>2 創業支援、販路拡大、事業承継、外部機関との連携などの中小企業支援の推進</p> <p>3 顧客データベースの情報蓄積によるサービス提案力の強化</p>                    |
| <p><b>3</b> SDGsや脱炭素を踏まえた技術開発支援による持続的な地域生産性向上への貢献</p> <p>1 「ケイエール」などのデジタルチャネルやDX化を通じたお取引先の生産性向上支援</p> <p>2 地域拠点としての次世代店舗網の再構築</p> <p>3 お取引先の脱炭素支援および当金庫のSDGsの継続的な取り組み</p> | <p><b>4</b> トップライン収益の向上と業務効率化による生産性向上施策の推進</p> <p>1 課題解決を通じたお客さま満足度向上による適正収益の確保とビジネス化</p> <p>2 市場運用力強化に向けたポートフォリオの再構築</p> <p>3 戦略的IT投資や営業融資一体化など生産性向上に向けた施策の推進</p>        |
|   | <p><b>5</b> リスクガバナンス態勢の強化とコンプライアンスの実効性向上</p> <p>1 金利上昇など市場環境の変化を踏まえたリスク管理の強化</p> <p>2 サイバーセキュリティやマネー・ローダリング対策などお客さまを守る取り組みの徹底</p> <p>3 高い倫理観と経営理念等の深い理解によるコンプライアンスの実践</p> |